

(2) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

現時点において本項目の評価を行うのは極めて困難であるが、下記の点から考察した結果、概ね順調に達成しつつあると判断する。

- ・ 設置の趣旨・理念の浸透及びニーズの反映
初年度は入学定員 160 名を上回る 171 名が入学した。引き続き適正な定員管理に努めていきたいと考えている。入学者の志願動機には、医学部・歯学部との連携による「誠の医療人の育成」という医療系総合大学としての本学の特色ある教育への強い期待と、第一期生として新キャンパスで新たな歴史を創っていくことへの意欲や気概が多く綴られており、設置の趣旨や理念がある程度浸透し、理解が得られたものと考えている。また、開設前の地域住民を対象とした新キャンパス内覧会には、一日で優に 3,000 名を超える来訪者があったことから、地域の期待と関心の高さが窺われる。今後も積極的な情報の提供に努めるとともに、社会のニーズに真摯に耳を傾けていきたいと考えている。
- ・ 教育体制の整備状況
教員組織については、准教授候補者 1 名から就任の辞退があり、現在、後任候補者の選考を進めているが、年次的段階的整備計画に基づき、初年度赴任予定の専任教員 23 名を採用した。本格的に専門教育が実施される来年度には、本学薬剤部に勤務中の実務家みなし専任教員 3 名を除く薬学部の全専任教員 33 名が就任する予定となっている。なお、就任辞退者の今年度担当予定科目は講義内容を勘案し、十分な業績を有する兼任講師が担当するため、学生教育に支障はない。また、本学の教養教育と専門教育への準備教育、3 学部の横断的教育の担当組織として、共通教育センターを立ち上げたことは評価に値すると考えている。
- ・ 施設・設備等の整備状況
施設・設備は年次的段階的整備計画に基づきながら、可能な限り前倒しに整備・充実を進めている。このうち、図書館は開架書庫の段数を組み替えたため、収納可能冊数こそ減少となったものの、当初の計画を上回る図書・雑誌（電子ジャーナルを含む）・機器を初年度から整備するとともに、一般への開放も計画している。
- ・ 卒業後の進路確保に向けた取り組み
薬学部就職支援委員会を立ち上げ、6 年間の就職支援プログラムを構築した。今後、実践力の養成と進路確保に向けての活動を本格的に開始する。また、就職支援コーナーを設置し、インターネット環境・書籍の整備、各種情報の提供を行っている。今後、求人情報の提供等、漸進的に充実を図っていく。
- ・ 実務実習実施に向けた取り組み
東北地区病院・薬局実務実習調整機構と連携し、開設前の準備段階から大学間連絡委員会に参加し、実務実習受入施設の拡大と指導薬剤師養成に向けた取り組みに積極的に参加している。